

# 海外へのインフラ技術移転から得られる知見の共有の試み 解説

## 1. 本研究の概要

海外へのインフラ技術移転に今後携わる技術者等が、過去の技術移転事例から得られる知見を効率よく参考にできるように作成したものです。

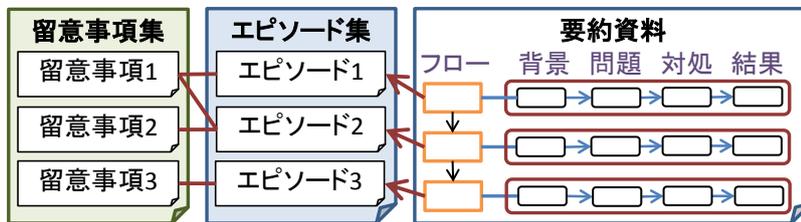
## 2. 本留意事項集が想定しているユーザー、目的

- ◆ 想定ユーザー：移転する技術の選定・検討や施工管理など現場に近い位置で技術的な部分を受け持つ技術者や、国内で支援的な研究を行う研究者で、海外業務の経験が無い・少ない方
- ◆ 本留意事項集の目的：技術移転事業のスムーズな進行、トラブル回避、技術移転の成功等につながると考えられる、注意点や着目点、考え方を、短時間で簡略に把握する

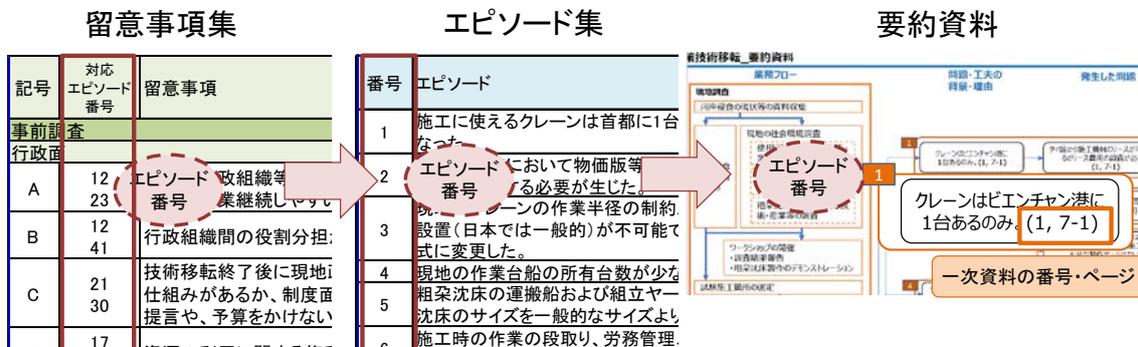
## 3. 留意事項集の構成、見方

実際に発生した問題や工夫点からなる「エピソード」と、それらを知識化した「留意事項」を別々に整理して対応付けています。さらに、事業の全体像を簡略化した要約資料とも対応付けています。関連はエピソード番号で辿ってください。

※要約資料の詳しい見方は、資料本編の1ページ目をご覧ください。



留意事項集の形式のイメージ



エピソード番号での関連付け図

#### 4. 素材として取り込んでいる技術移転事例

##### ◆ 河岸侵食対策技術のラオス国への移転事例

###### 【資料】

国際建設技術協会：途上国建設技術開発促進事業（河岸侵食対策技術）報告書、2000.3～2002.3、全3編

国際協力事業団および国際協力機構：ラオス国河岸侵食対策技術プロジェクト報告書、2001.8～2014.11、全7編

※現在の留意事項は、上記事例の範囲で作成したものであり、全ての分野・対象国の技術移転に必要な留意事項を網羅したものではありません。